

『ひがしくさんぽ』

「託麻三山とは？」

皆さん託麻三山という言葉は聞いたことがありますか？この『託麻三山』。熊本市の中心部より東の方角にある山々のことで、皆さんがよく目にされる山は、熊本県民運動公園（えがお健康スタジアム）近くにある山々でしょうか。

この山々。それぞれ、小山山（おやまやま）（189m）、神園山（こうぞのやま）（183m）、戸島山（としまやま）（133m）の3つの山を総じて託麻三山といいます（下図参照）。

県民運動公園の周辺には小山山と神園山があり、この2つの山から南方向に国体道路を挟んで少し離れたところに戸島山があります。

書物によると、この点々と島状に分布する山々は中生白亜紀期（約1億年前）からできたとされていて、山麓では旧石器時代から人々が住み始め、小山山南麓には「平山石の本遺跡」、戸島山の西麓から南西にかけて「葉山遺跡」など古い歴史を持つ土地があります。中でも、平山石の本遺跡は県内で最も古い石器が出土している場所とも言われています。

さらには小山・神園山の山麓一帯は奈良時代から平安時代には煙たなびく一大窯業地帯であったと言われており、かつての熊本城の瓦も当時の窯で焼かれています。

託麻三山の周辺には神社やお寺の他に札所を巡る託麻新四国八十八ヶ所巡りがあり、それぞれの山には散策コースが設けられ、四季折々の自然や風景を楽しむことができます。

この託麻三山周辺をめぐるコース。東区役所総務企画課や託麻まちづくりセンターにおいて散策マップを配布しておりますので、ゆっくり史跡を学びながら歩いてみませんか。



左から神園山・小山山



戸島山



散策マップ